

実践記録

130

シリーズ

妙高フレンドスクール

妙高市教育委員会 生涯学習課 市民活動支援係 寺島 武司

1. はじめに

今、子どもたちに必要なのは「生きる力」、特に他者と関わり、人間関係をどうつくるかという対人関係力です。幼少期から家族に見守られながら大切に育まれますが、現代は、どうしても対人的な関係が希薄となるために、新たな環境に置かれたときに、自ら友人を作ったり、自分なりに居場所を確保したりすることができず、それが不登校やニート、フリーター、引きこもりなどにもつながっている。

妙高市では、どんな新しい環境に置かれても積極的に他者とコミュニケーションをとっていける適応力をもつ子どもの育成を目指し、妙高フレンドスクールとして、市内全小学校6年生を対象に国立妙高青少年自然の家（以下、「自然の家」）を会場に長期宿泊体験活動を実施している。

2. 妙高フレンドスクールはじまり

平成9年に旧妙高村の小学校が、5泊6日の通学キャンプを実施したことに始まる。平成18年度から市内5小学校を対象に7泊8日の日程で実施し、平成19年度から6泊7日に期間を改め、期間中を自然の家で過ごす完全滞在型へ変更し実施した。

そして、今年度からはフレンドスクールの対象を市内全12小学校の6年生とした。

3. 活動内容

◆平日の日中

完全滞在型となってからは、平日の日中を学校教育の時間として各種体験活動を実施している。これらの体験活動は、学校の教科学習に位置づけることで、教科の時数不足や学習進度といった長期宿泊体験活動の障害を解消している。

◆夜間、休日

夜間や休日は社会教育の時間として、参加児童を班分けし、活動を行った。各班には大学生スタッフが付き、活動を支援している。これら夜間の班活動は、最終日に実施する「チャレンジタイム」のための話し合い活動である。異なる学校の男女で構成される班活動では、児童が意見を出して話し合い、班で実施する内容を決定する。その他、活動場所や必要な備品、タイムスケジュールなどの詳細を決定していく。限られた時間の中で児童は協力しながら活動を実施している。

◆活動プログラム

	活動内容(第1・2ブロック)	活動内容(第3ブロック)
1日目	開校式、仲間作り	開校式、仲間作り
2日目	火山学習	火山学習
3日目	火打山登山	森遊び・川遊び
4日目	野外炊事、洗濯、家族への手紙	火打山登山
5日目	森の秘密基地作り	スタンツの話し合い、クラフト
6日目	妙高アドベンチャー	妙高アドベンチャー
7日目	チャレンジタイム、閉校式	チャレンジタイム、閉校式

※夜は、毎日班活動を実施

※第3ブロックでは、6日目の夜間にキャンプファイヤーを実施

4. スタッフの体制

妙高フレンドスクールでは、各種関係団体などが協力して児童の活動を支えた。

- メインの活動場所となる自然の家の職員。
- 夜間や休日の活動を支援する大学生スタッフ。
- 夜間に体調を崩した児童の対応を行う看護スタッフ。
- 学校教育課程外であるが、児童の活動を見守り、大学生スタッフへの助言や緊急時の対応をスムーズに行うための

の参加校の管理職の先生や担任の先生。

- 主催者として、全体の活動を見守る教育委員会職員。
- そして今年から新たな取り組みとして、期間を通して活動の全体を見守り、支援・助言を行う全体指導者。これまで、学校教育課程から社会教育課程の時間の引継ぎや、宿泊スタッフが毎日交代することによる情報の一元化が課題となっていた。そのため、今年度から全体指導者が期間を通じて自然の家に滞在することで、この課題が解消し、学校や各スタッフとの橋渡し役として成果を発揮した。

5. おわりに

6泊7日の宿泊体験活動は、児童にとっては容易なものではありません。しかし、この宿泊体験活動が児童を確実に成長させたことは紛れもない事実です。

来年度のフレンドスクールは、関係団体等と協議し、期間を5泊6日として実施する。



炊事



登山

第1ブロックアンケート結果 (IKR 評定調査)

	初日	最終日
1	いやなことは、いやとはっきり言える	4.54 5.30
2	人のために何かをしてあげるのが好きだ	4.54 5.11
3	先を見通して、自分で計画が立てられる	4.18 4.95
4	暑さや寒さに、まけない	4.64 5.17
5	だれにでも話しかけることができる	4.34 5.31
6	花や風景などの美しいものに、感動できる	4.33 5.00
7	多くの人に好かれている	3.92 4.46
8	人の話をきちんと聞くことができる	5.05 5.33
9	自分のことが大好きである	4.00 4.47
10	ナイフ・包丁などの刃物を、上手に使える	4.46 5.16
11	自分からすすんで何でもやる	4.29 4.89
12	いやがらずに、よく働く	4.39 4.83
13	早寝早起きである	3.85 5.01
14	自分かってなわがまを言わない	4.59 4.83
15	小さな失敗をおそれない	4.68 4.91
16	人の心の痛みがわかる	4.55 5.01
17	自分で問題点や課題を見つけることができる	4.39 4.86
18	とても痛いケガをしても、がまんできる	4.24 4.70
19	失敗しても、立ち直るのがはやい	4.45 4.83
20	季節の変化を感じるができる	5.01 5.44
21	だれとでも仲良くできる	4.49 5.11
22	その場にふさわしい行動ができる	4.37 4.87
23	だれにでも、あいさつができる	5.10 5.49
24	洗濯機がなくても、手で洗濯できる	5.21 5.63
25	前向きに、物事を考えられる	4.36 4.83
26	自分に割り当てられた仕事は、しっかりとやる	5.02 5.34
27	からだを動かしても、疲れにくい	4.02 4.61
28	お金やモノのむだ使いをしない	5.07 5.33
I	心理的社会的能力	62.16 69.62
II	徳育的能力	37.51 40.90
III	身体的能力	26.43 30.29
	「生きる力」全体	126.09 140.80